

## メリット

### ビジネス アライメント

- 要求の厳しい音声 / 映像 / データ アプリケーションのサポートにより、モバイルワーカーの生産性と利便性を改善
- ユーザ、デバイス、アプリケーションのロール・ベースのグループ化により、ビジネス ニーズに従って優先度、QoS、セキュリティを実現
- 統合管理、セキュリティ、QoS 機能により、運用コストを低減し、場所を問わず一貫したユーザ エクスペリエンスを保証
- VoWLAN およびデュアル・モードデバイスを有効にするモビリティ ソリューションの主要素

### 操作の効率性

- 集中型の可視性と制御により、管理の簡素化、スピーディな問題解決、ネットワーク利用の最適化、無線上の脅威への自動対応が実現
- 有線と無線の統合管理とロール・ベースのアクセス制御により、管理の時間と労力が大幅に低減
- 適応型アーキテクチャが複雑さを軽減し、アプリケーションごとに情報フローを最適化



## ExtremeWireless<sup>™</sup> アプライアンス

高パフォーマンスなエンタープライズ・クラスの WLAN アプライアンス

- ExtremeWireless アクセス ポイントの一元管理により、無線アプライアンスごとに 2,000 以上のアクセス ポイントに拡張可能
- 集中型および分散型のデータ転送によるシームレスなローミング
- クラウド配備用に仮想化された管理および制御プレーン
- リアルタイム音声 / 映像 / データ アプリケーション用の高可用性アーキテクチャ
- 基盤となる仮想リソースに自動的に適応する柔軟なプラットフォーム

## 製品の概要

受賞歴のある ExtremeWireless アプライアンス ファミリーは、マネージド WLAN の配備に最適な拡張性の高い多様なソリューションを提供して、要求の厳しい音声 / 映像 / データアプリケーションをサポートします。当社の無線アプライアンスは、簡単に配備して管理できるだけでなく、組織が構造上の制約なしにビジネス ニーズに従って無線音声 / 映像 / データ トラフィックの処理方法を定義できる高度な機能を備えています。

ExtremeWireless アプライアンスのポートフォリオには、以下の製品が含まれます。

- 最大 250 の AP をサポートする C35
- 最大 1,050 の AP をサポートする V2110 (VMware)
- 最大 2,000 の AP をサポートする C5210 と C5215

V2110 を仮想アプライアンスとして使用すると、VMware または Microsoft Hyper-V クラウド環境での配備が容易になります。VMware によって最大 1,050 の AP に拡張可能な V2110 は、データセンター仮想化のメリットであるコスト削減、ハードウェア非依存性、回復性をすべて無線インフラストラクチャにもたらします。

## セキュリティ

- ロール・ベースのアクセス制御 (802.1X、MAC 認証、およびキャプティブポータルを使用) を備えた認証および権限付与機能
- 標準ベースの暗号化 (WEP、TKIP、WPA、WPA2、WPA-PSK、WPA2-PSK、および AES)
- 外部キャプティブポータルによる、ゲストアクセスの完全なカスタマイズが可能
- 統合された有線 / 無線侵入防止
- 管理、制御、およびデータトラフィックのサービス拒否 (DoS) 攻撃からの保護

## サポートとサービス

- 業界トップクラスの顧客満足度とファースト・コール解決率
- サイト調査、ネットワーク設計、設置、研修などのパーソナライズされたサービス

ExtremeWireless アプライアンスで、個別サービスによってユーザ、デバイス、およびアプリケーションをロール・ベースで管理できます。個別サービスには、サービス品質 (QoS)、呼受付制御、セキュア アクセス ポリシー、ネットワーク アクセス制御 (NAC)、キャプティブポータル、レート制限、マルチキャスト、フィルタリング、トラフィック転送などがあります。これらのサービスは、独自の柔軟な ExtremeWireless Virtual Network Service (VNS) アーキテクチャによって実現され、直感的な Web インターフェイスを通じて容易にプロビジョニングして管理できます。各アプライアンスは、802.11ac、802.11n および 802.11a/b/g AP の混合モード配備に加え、無線アプライアンスとアクセスポイント間のシームレスなローミング機能をサポートして、スケーラブルな環境を容易に配備できます。

大規模環境への配備の場合、ExtremeWireless は、数千台もの AP の管理をさらに容易にするために、移動ゾーンを作成して、複数のサブネットと無線アプライアンスにローミングを拡張します。移動ゾーンでは、VNS 定義と個々のポリシーが移動ゾーン全体にわたって維持されるため、AP の物理的な位置に関係なく、配備された最大 12,000 のどの AP でも、ユーザに対して適切なポリシーが確実に適用されます。ExtremeWireless は、802.11ac/abgn ソリューションを配備するための容易で低コストな方法を提供することにより、コスト効率の高い価格設定、有線 / 無線統合、および低 TCO を実現すると同時に、幅広いモバイル音声、映像、および位置情報ベースのアプリケーションをオープンにサポートして、企業の生産性を高め、全体的なモビリティのコストを削減します。ExtremeWireless アプライアンスでは、アプリケーションによる集中型と分散型の両方のトラフィック転送を提供できるため、柔軟かつコスト効率の高い方法で企業向けの 802.11ac/abgn を配備できます。業界トップのグローバルなサポートとサービスに裏付けられた ExtremeWireless ソリューションにより、お客様は既存の投資を活用し、インフラストラクチャの総入れ替え（いわゆる、フォークリフトアップグレード）を回避できます。

## 仮想ネットワーク サービス (VNS) - 適応性のある WLAN アーキテクチャ

ほとんどの WLAN ソリューションでは、ネットワーク管理者が、集中型アーキテクチャと分散型アーキテクチャのいずれかを選択する必要があります。ExtremeWireless の大きな利点は、両方の配備モデルが同時にサポートされているため、他のソリューションをはるかに超えた柔軟性のメリットが得られることです。ネットワーク管理者は、一切の制約なしに、トラフィックの処理方法を SSID 単位で選択できるため、無線 LAN インフラストラクチャをビジネス要件とアプリケーションに適応させることができます。

集中型アーキテクチャでは、すべてのトラフィックを集中型アプライアンスにバックホールする必要があります。802.11ac および 802.11n AP はデータレートが大きいため、有線ネットワーク上のトラフィック負荷が、従来の 802.11a/b/g AP ネットワークで生成されるトラフィック負荷を大きく上回る可能性があります。WLAN 配備の規模と集中型アプライアンスに転送されるデータ量によっては、重大な輻輳が生じることがあります。

完全な分散配備を行った場合、無線アプライアンスへのバックホーリングトラフィックは解消されますが、シームレスなサブネット間ローミング (VoWLAN など) を必要とするリアル・タイムモバイルアプリケーションの処理が複雑になります。場合によっては、IT マネージャが、大規模なブロードキャストドメインを作成したり、多数の VLAN を適用したりする必要が生じます。

ExtremeWireless Virtual Network Services は、トラフィックを無線アプライアンスにバックホールするか、SSID ごとに AP でローカルに切り替えることによってトラフィック フローを制御します。ローカル切り替えを使用した場合、AP は無線アプライアンスによって引き続き一元的に管理されますが、データは無線アプライアンスにバックホールされません。これにより、応答性が向上し、トラフィックが高コストの WAN を不必要に横断したり、集合スイッチでボトルネックの一因となったりすることはなくなります。VNS はロール・ベースのポリシーも備えているため、ユーザごとやアプリケーションごとにセキュリティ、NAC、モビリティ、および QoS 優先度を実装できます。この機能を以下の表に示します。

SSID	ユーザタイプ	セキュリティ ロール	トポロジ (データパス)
単一	複数	複数	単一
単一	複数	単一	複数
単一	複数	複数	複数
複数	複数	複数	単一
複数	複数	単一	複数
複数	複数	複数	複数

## 有線および無線ネットワークの統合管理と制御

### Wireless Assistant による Web ベースの一元管理

Wireless Assistant では、ネットワーク管理者は一元化された Web ベースのインターフェイスを利用してインフラストラクチャとサービスを簡単に管理できます。ネットワーク管理者は、無線アプライアンス上でホストされているこのインターフェイスを利用して、各 AP や AP のグループを個別に構成、有効化、または無効化できます。無線アプライアンスは、ネットワーク経路で受け取ったデータを統合し、有意義な統計情報をわかりやすいレポートで提供します。また、WLAN インフラストラクチャと企業管理アプリケーションを容易に統合できるように、標準ベースの管理ツールがいくつか用意されています。複数の無線アプライアンスがある大規模ネットワークの場合は、オプションの ExtremeControl Management Suite を使用してデータの収集と管理を行い、WLAN 全体を一元的に表示することができます。

### マルチ・アプライアンス管理

ExtremeControl では、ExtremeWireless ポートフォリオを一元管理し、無線 LAN 全体にわたる管理情報を集約してネットワーク全体を俯瞰できます。このソリューションは、高度な無線侵入防止機能と位置評価機能を提供する ExtremeWireless Radar 侵入防止システム (WIPS) オプションを追加して強化することができます。有線/無線ネットワーク統合は、ExtremeControl Management Suite ですべての無線要素を可視化することでさらに強化できます。また ExtremeControl と ExtremeWireless ポートフォリオを統合すると、ExtremeControl Center Console で、無線アクセス ポイント、アプライアンス、および無線クライアントのエンド・トゥ・エンドの可視性が実現します。この統合により、ネットワーク管理の効率性、有線/無線インフラストラ

クチャのトポロジ マッピング、およびネットワーク管理者にとっての可視性が改善されます。さらに ExtremeControl Center Inventory Manager と統合すると、ソフトウェアの配布と構成変更を効果的に一元化することができます。

### 統合セキュリティ

無線 IDS および IPS のセキュリティは、ExtremeWireless Radar を通じて組み込まれる無線侵入防止によって強化されます。ExtremeSecurity Intrusion Prevention System (IPS) とともに配備した場合は、完全なパケット検査、適応性のある署名パターン照合、プロトコル分析、および行動異常検出が有線ユーザと無線ユーザの両方に提供されます。また、ExtremeControl のアイデンティティベースのポリシー特権が有線/無線インフラストラクチャにわたって統一され、接続方法を問わずロール・ベースのアクセス制御が提供されます。

ExtremeControl ポリシーは、適正なユーザだけが正しい時点で正しい場所から正しい情報にアクセスできることを保証します。また、外部キャプティブ ポータル インターフェイスを使用して、サードパーティの認証システムを統合することもできます。

### 高パフォーマンスと高可用性

ExtremeWireless は、今日の無線アプリケーションが必要とする高パフォーマンスと高可用性の最適な組み合わせを提供します。独自の音声最適化機能と最新の業界標準を兼ね備えた ExtremeWireless は、エンタープライズ グレードの信頼性をすべてのユーザに提供します。

### 高スケーラビリティ

ExtremeWireless ポートフォリオは、無線アプライアンスごとに 1~2,000 の AP をサポートして、小規模な無線設備から大規模な無線設備まで、線形のスケーラビリティを提供します。また、無線アプライアンスをネットワーク化して、単一アプライアンスまたは可用性ペアの枠を超えてスケーリングすることで、マルチ無線アプライアンスの移動ゾーンを提供することもできます。移動ゾーンにより、リアルタイムのセッション可用性サービスを引き続き提供しながら、多数の無線アプライアンスにわたってシームレスにローミングできます。冗長性のために追加の AP ライセンスを購入する必要はありません。

ExtremeWireless は、各アプライアンスと AP が、ネイティブの IP 優先順位付け (DiffServ、TOS、Precedence)、イーサネット 802.1p、802.11e の WMM、および TSPEC 無線 QoS 標準をサポートする、真にエンド・トゥ・エンドのサービス品質 (QoS) を提供します。ExtremeWireless デバイスは、有線か無線かに関係なく、すべてのインターフェイス上で別個のキューをサポートします。

音声トラフィックとデータトラフィックが同じ AP 上で送受信される場合、最適な音声品質を得るために、音声トラフィックを優先して遅延とジッタを最小限に抑えることができます。無線アプライアンスは、有線ネットワーク (TOS、DSCP など) 上で WMM 優先トラフィックを既存の QoS 優先順位付けスキームに変換できます。

## 音声とデータのシームレスなモビリティを実現するための高速でセキュアなローミング

ExtremeWireless アプライアンスは、セッションを集中的に管理することで、ユーザとデバイスがキャンパスを越えて移動する際に、高速でセキュア、かつシームレスなローミングを保証します。シームレスなローミングによって、企業全体に真のモビリティが提供され、生産性が大幅に向上します。またこれはすべてユーザに透過的に処理されます。

無線アプライアンスは、業界標準を使用して高速かつセキュアなローミングを提供します。802.11i 事前認証 (Pre-Auth)、802.11r および 802.11k により、ユーザはカバレッジ範囲に入る前に隣接する AP によって認証されるため、ユーザが企業内を移動しても音声通話が維持されます。従来のデバイスのデバイス ローミング時間を大幅に改善するメカニズムとして、日和見主義キー キャッシング (OKC) もサポートされています。

## 高可用性と自己回復機能

冗長 ExtremeWireless アプライアンスはネットワーク全体にわたって配備することができ、フェイルオーバー モードまたは負荷分散モードで動作します。アクセス ポイントを高速フェイルオーバーモード用に設定すると、構成とサービスの復旧 (トンネル モードでの) を 2 秒足らずで実行できるため、ユーザ セッションを中断なく続けることができます。トラフィックをローカルで切り替えている場合、AP は無線アプライアンスへのリンクが切断されてもサービスを提供し続けます。停電によって再起動を強制された場合はサービスを再開するように設定できます。

ExtremeWireless AP は Dynamic Radio Management も備えています。Dynamic Radio Management により、ネットワークは RF 環境の変化や個々の AP の障害に自動的に適応して、ユーザに対する可用性とパフォーマンスを確保することができます。各無線 AP は、チャンネル使用、信号対雑音比 (SNR)、および近隣 AP (ExtremeWireless またはサードパーティ製) の受信電力を継続的に監視して、チャンネルと送信出力を調整します。

## ExtremeWireless アプライアンス



サポートされる機能	C35	C5210	C5215
容量			
アプライアンスごとにサポートされる合計 AP 数	250	2,000	2,000
標準モードでサポートされる合計 AP 数	125	1,000	1,000
高可用性モードでサポートされる追加の AP 数	125	1,000	1,000
アプライアンスごとの合計同時ユーザ数	4,000	32,000	32,000
標準モードでの合計同時ユーザ数	2,000	16,000	16,000
高可用性モードでの合計同時ユーザ数	2,000	16,000	16,000
管理容易性			
予備規格 (CAPWAP)	✓	✓	✓
統合 VLAN-VNS	✓	✓	✓
新規 AP の自動検出	✓	✓	✓
CDR/RADIUS アカウンティング	✓	✓	✓
Extreme Control Center による可視性	✓	✓	✓
Extreme Identity とアクセス制御の統合	✓	✓	✓
ExtremeSecurity との統合	✓	✓	✓

# ExtremeWireless アプライアンス



サポートされる機能	C35	C5210	C5215
<b>パフォーマンスと可用性</b>			
バックアップコントローラ (ライセンス付属) への自動フェイルオーバーによる高可用性	✓	✓	✓
高速フェイルオーバーとセッション可用性によるクライアントのモビリティ	✓	✓	✓
動的無線管理 (DRM)、柔軟なクライアント アクセス (エアタイムフェアネス)、ロード バランシング、バンド・ステアリング	✓	✓	✓
802.11k によるクライアント ロード バランシング (37XX および 38XX シリーズ)	✓	✓	✓
管理フレーム保護 (802.11w)	✓	✓	✓
認証済みデバイス (802.11u) によるネットワークの自動検出	✓	✓	✓
ハイブリッドトラフィック転送のサポート: AP でのローカル スイッチングまたはコントローラベースのスイッチング (ユーザ、アプリケーション、またはセグメントに基づく)	✓	✓	✓
複数のサブネットにわたるクライアントの動的ロード バランシング	✓	✓	✓
ホット スワップ可能なデュアル電源		✓	別売
最大スループット (Mbps): 混合 (RFC2544)/ 暗号化	3730/2140	18500/14500	18500/18000
<b>セキュリティ</b>			
堅牢な標準ベースのセキュリティ: 802.11i、WEP、WPA、WPA2、TKIP、AES	✓	✓	✓
802.1x 認証: EAP-TLS、EAP-SIM、EAP-TTLS、PEAP、EAP-MD5、EAP-FAST	✓	✓	✓
保護された管理フレーム (802.11w)	✓	✓	✓
RADIUS 認証およびアカウントリング	✓	✓	✓
暗号化アルゴリズム: AES (CCMP)、RC4-40、104、128 ビット (TKIP、WEP)	✓	✓	✓
ゲスト サービス (キャプティブ ポータル、URL リダイレクト、NAC) およびウォールガード (URL への不正アクセス)	✓	✓	✓
高度なフィルタリングおよび Extreme Control Center との統合	✓	✓	✓
<b>音声</b>			
Voice-over-WLAN 最適化: 802.11e/WMM、U-APSD、TSPEC、CAC、QBSS	✓	✓	✓
802.11r による高速ローミング (AP37XX、AP38XX、および AP39XX シリーズ)	✓	✓	✓
有線 / 無線 (DSCP/TOS-to-WMM) QoS マッピング	✓	✓	✓
IP サブネット間のローミング	✓	✓	✓
複数のアプライアンス間のローミング	✓	✓	✓
<b>ネットワーク</b>			
SNMPv2c/v3	✓	✓	✓
ルーティング OSPF v2	✓	✓	✓
CSMA/CD	✓	✓	✓
802.11-802.3 ブリッジング	✓	✓	✓
IEEE 802.1D 準拠のブリッジング	✓	✓	✓
IEEE 802.1Q VLAN タギングおよびトランキン	✓	✓	✓
プロキシ ARP	✓	✓	✓
リンク アグリゲーション (静的 LAG)	✓	✓	✓

サポートされる機能	V2110 (VMware)			V2110 (Hyper-V)
	小	中	大	
アプライアンスごとにサポートされる合計 AP 数	100	500	1,050	500
標準モードでサポートされる合計 AP 数	50	250	525	250
高可用性モードでサポートされる追加の AP 数	50	250	525	250
アプライアンスごとの合計同時ユーザ数	2,048	8,192	16,384	8,192
標準モードでの合計同時ユーザ数	1,024	4,096	8,192	4,096
高可用性モードでの合計同時ユーザ数	1,024	4,096	8,912	4,096

## ExtremeWireless アプライアンス ( 続き )

サポートされる機能	V2110 (VMware)			V2110 (Hyper-V)
ハードウェア要件	小	中	大	
CPU	2	4	8	4
RAM (GB)	1	2	4	2
ハードディスク (GB)	25	25	25	25
インターフェイス	2 個のデータ ポートと 1 個の管理ポート			
管理容易性				
予備規格 (CAPWAP)	✓	✓	✓	✓
統合 VLAN-VNS	✓	✓	✓	✓
新規 AP の自動検出	✓	✓	✓	✓
CDR/RADIUS アカウンティング	✓	✓	✓	✓
Extreme Control Center による可視性	✓	✓	✓	✓
Extreme Identity とアクセス制御の統合	✓	✓	✓	✓
パフォーマンスと可用性				
バックアップ コントローラ ( ライセンス付属 ) への自動フェイルオーバーによる高可用性	✓	✓	✓	✓
高速フェイルオーバーとセッション可用性によるクライアントのモビリティ	✓	✓	✓	✓
動的無線管理 (DRM)、柔軟なクライアント アクセス ( エアタイムフェアネス )、ロード バランシング、およびバンド・ステアリング	✓	✓	✓	✓
ハイブリッドトラフィック転送のサポート: AP でのローカル スイッチングまたはコントローラ・ベースのスイッチング ( ユーザ、アプリケーション、またはセグメントに基づく )	✓	✓	✓	✓
最大スループット: ( 混合 RFC2544)* オープン / 暗号化	✓	✓	✓	✓
2x1 Gbps ホスト	1,870/1,800	1,870/1,800	1,870/1,800	1,870/1,800
2x10 Gbps ホスト	5,000/1,870	10,800/5,000	10,800/5,000	10,800/5,000
ホット スワップ可能なデュアル電源	✓	✓	✓	✓
高度なフィルタリングおよび Extreme Control Console Policy Manager との統合	✓	✓	✓	✓
ExtremeAnalytics を通じたアプリケーション層の可視性 (7,000 + フィンガープリント)	✓	✓	✓	✓
管理フレーム保護 (802.11w)	✓	✓	✓	✓
認証済みデバイス (802.11u) によるネットワークの自動検出	✓	✓	✓	✓
音声				
Voice-over-WLAN 最適化: 802.11e/WMM、U-APSD、TSPEC、CAC、QBSS	✓	✓	✓	✓
802.11r による高速ローミング	✓	✓	✓	✓
有線 / 無線 (DSCP/TOS-to-WMM) QoS マッピング	✓	✓	✓	✓
IP サブネット間のローミング	✓	✓	✓	✓
複数のアプライアンス間のローミング	✓	✓	✓	✓
ハードウェア要件				
SNMPv2c/v3	✓	✓	✓	✓
ルーティング - OSPF v2	✓	✓	✓	✓
802.11-802.3 ブリッジング	✓	✓	✓	✓
IEEE 802.1D 準拠のブリッジング	✓	✓	✓	✓
IEEE 802.1Q VLAN タギングおよびトランキン	✓	✓	✓	✓
プロキシ ARP	✓	✓	✓	✓
リンク アグリゲーション ( 静的 LAG)	N/A	N/A	✓	N/A

\* パフォーマンスは、基盤となるネットワーク インターフェイスの特性および他の仮想アプライアンスによる共有インターフェイスの使用状況によって異なります。  
VMware ESXi 5.5 および 6.0 をサポート (V10.01 以上が必要)。Hyper-V (Windows Server 2012 R2 以上)。  
V2110 (VMware) のエラスティック キャパシティには V9.21 以上が必要。

## ExtremeWireless アプライアンス ( 続き )

技術仕様	C35	C5210	C5215
寸法			
長さ	30.5 cm (12 インチ)	70.9 cm (27.95 インチ)	76.84 cm (32.25 インチ)
幅	43.1 cm (16.9 インチ)	43 cm (16.93 インチ)	43.82 cm (17.25 インチ)
高さ	4.4 cm (1.7 インチ)	4.45 cm (1.75 インチ) - 1U	4.45 cm (1.75 インチ) - 1U
重量	4.3 Kg (9.5 ポンド)	14.4 Kg (31.8 ポンド)	21.6 Kg (47.75 ポンド)
環境条件			
動作時温度	0 °C ~ 40 °C (32 °F ~ 104 °F)	10 °C ~ 35 °C (50 °F ~ 95 °F)	10 °C ~ 35 °C (50 °F ~ 95 °F)
保管時温度	-20 °C ~ 70 °C (-4 °F ~ 158 °F)	-40 °C ~ 70 °C (-40 °F ~ 158 °F)	-40 °C ~ 70 °C (-40 °F ~ 158 °F)
湿度	5% ~ 90% (結露しないこと)	5% ~ 90% (結露しないこと)	5% ~ 90% (結露しないこと)
取り付け			
19 インチ ラック マウント型	標準 19 インチ ラックに適合する 1U 構成 (取り付けキット付属)	標準 19 インチ ラックに適合する 1U 構成 (取り付けキット付属)	標準 19 インチ ラックに適合する 1U 構成 (取り付けキット付属)
フロントおよびリア マウント	ユニット背面に I/O ケーブル、後部に電源ケーブルおよび電源スイッチ	ユニット背面に I/O ケーブルと電源ケーブル、前面に電源スイッチ	ユニット背面に I/O ケーブルと電源ケーブル、前面に電源スイッチ
電力定格			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>電圧: 100 ~ 240 VAC</li> <li>周波数: 50 ~ 60 Hz</li> <li>電力 (最大): 150 W</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電圧: 110/240 VAC</li> <li>周波数: 47 ~ 63 Hz</li> <li>電力 (最大): 750 W</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電圧: 110/240 VAC</li> <li>周波数: 47 ~ 63 Hz</li> <li>電力 (最大): 750 W (冗長電源は別売)</li> </ul>
ポート			
データ ポート	4 x 10/100/1000 Base-T	2 x SFP+ (GBIC は別売) 2 x 10/100/1000 Base-T	2 x SFP+ (GBIC は別売) 2 x 10/100/1000 Base-T
2 管理ポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 x 10/100/1000 Base-T</li> <li>1 x USB ポート</li> <li>DB9 コンソール ポート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 x 10/100/1000 Base-T</li> <li>5 基の USB ポートを搭載。1 基を使用。</li> <li>RJ45 コンソール ポート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 x 10/100/1000 Base-T</li> <li>5 基の USB ポートを搭載。1 基を使用。</li> <li>RJ4 コンソール ポート</li> </ul>

## ExtremeWireless アプライアンス ( 続き )

技術仕様	C35	C5210	C5215
準拠規格			
規格および安全認証	<ul style="list-style-type: none"> <li>UL 60950-1、第 2 版、</li> <li>CSA C22.2 No. 60950-1-07、第 2 版</li> <li>CB スキーム : IEC 60950-1 AS/ NZS 60590-1 ( オーストラリア / ニュージーランド )</li> <li>メキシコ (NRTL 経由)</li> <li>BSMI CNS 14336-1 99 ( 台湾 )</li> <li>CCC GB4943.1-2011、GB9254-2008、</li> <li>GB 176251-2012 ( 中国 )</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>UL60950 - CSA 60950 ( 米国 / カナダ )</li> <li>EN60950 ( ヨーロッパ )</li> <li>IEC60950 ( 各国共通 )</li> <li>CB 証明書および試験レポート、IEC60950 GS 認定 ( ドイツ )</li> <li>GOST R 50377-92 - 認定 ( ロシア )</li> <li>ウクライナ認証 ( ウクライナ )</li> <li>CE - 低電圧指令</li> <li>2006/95/EC ( ヨーロッパ )</li> <li>IRAM 認証 ( アルゼンチン )</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>UL60950 - CSA 60950 ( 米国 / カナダ )</li> <li>EN60950 ( ヨーロッパ )</li> <li>IEC60950 ( 各国共通 )</li> <li>CB 証明書および試験レポート、IEC60950 GS 認定 ( ドイツ )</li> <li>GOST R 50377-92 - 認定 ( ロシア )</li> <li>ウクライナ認証 ( ウクライナ )</li> <li>CE - 低電圧指令</li> <li>2011/65/EU ( ヨーロッパ )</li> <li>IRAM 認証 ( アルゼンチン )</li> </ul>
エミッション・イミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>エミッション :</li> <li>FCC パート 15、サブパート B、クラス A</li> <li>ICES-003: 2012、クラス A</li> <li>CISPR22:2010、クラス A</li> <li>EN 55022: 2010/AC:2011、クラス A</li> <li>EN 61000-3-2:2006+A2:2009</li> <li>EN 61000-3-3:2008</li> <li>EN 61000-6-4:2007+A1:2011</li> <li>RCM ( オーストラリア )</li> <li>VCCI クラス A ( 日本 )</li> <li>MSIP KCC ( 韓国 )</li> <li>BSMI CNS 13438:2006 95 ( 台湾 )</li> <li>ANATEL Res. 442、カテゴリ III ( ブラジル )</li> <li>イミュニティ :</li> <li>CISPR24:2010</li> <li>EN 55024:2010</li> <li>MSIP KCC ( 韓国 )</li> <li>EN/IEC 61000-4-2:2008</li> <li>EN/IEC 61000-4-3:2010</li> <li>EN/IEC 61000-4-4:2012</li> <li>EN/IEC 61000-4-5:2005</li> <li>EN/IEC 61000-4-6:2008</li> <li>EN/IEC 61000-4-11:2004</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>FCC/ICES-003 - エミッション ( 米国 / カナダ )</li> <li>CISPR 22 - エミッション ( 各国共通 )</li> <li>EN55022 - エミッション ( ヨーロッパ )</li> <li>EN55024 - イミュニティ ( ヨーロッパ )</li> <li>EN61000-3-2 - 高調波 ( ヨーロッパ )</li> <li>EN61000-3-3 - 電圧フリッカ ( ヨーロッパ )</li> <li>CE - EMC 指令 2004/108 EC ( ヨーロッパ )</li> <li>VCCI エミッション ( 日本 )</li> <li>AS/NZS 3548 エミッション ( オーストラリア / ニュージーランド )</li> <li>BSMI CNS13438 エミッション ( 台湾 )</li> <li>GOST R 29216-91 エミッション ( ロシア )</li> <li>GOST R 50628-95 イミュニティ ( ロシア )</li> <li>ウクライナ認証 ( ウクライナ )</li> <li>KC 認証 ( 韓国 )</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>FCC/ICES-003 - エミッション ( 米国 / カナダ )</li> <li>CISPR 22 - エミッション ( 各国共通 )</li> <li>EN55022 - エミッション ( ヨーロッパ )</li> <li>EN55024 - イミュニティ ( ヨーロッパ )</li> <li>EN61000-3-2 - 高調波 ( ヨーロッパ )</li> <li>EN61000-3-3 - 電圧フリッカ ( ヨーロッパ )</li> <li>CE - EMC 指令 2004/108 EC ( ヨーロッパ )</li> <li>VCCI エミッション ( 日本 )</li> <li>AS/NZS 3548 エミッション ( オーストラリア / ニュージーランド )</li> <li>BSMI CNS13438 エミッション ( 台湾 )</li> <li>GOST R 29216-91 エミッション ( ロシア )</li> <li>GOST R 50628-95 イミュニティ ( ロシア )</li> <li>ウクライナ認証 ( ウクライナ )</li> <li>KC 認証 ( 韓国 )</li> </ul>



## 発注情報

部品番号	説明
<b>アプライアンス</b>	
30135	WS-C35 WLAN アプライアンス。50 アクセス ポイントを管理、1 AP または 16 AP 単位で 125 AP まで拡張可能。規制ドメイン キーが必要。
WS-C5210	C5210 WLAN アプライアンス。100 アクセス ポイントを管理、25 AP または 100 AP 単位で 1000 AP まで拡張可能。GBICS は別売（以下の互換性リストを参照）。規制ドメイン キーが必要。
30136	WS-C5215 WLAN アプライアンス。100 アクセス ポイントを管理、25 AP または 100 AP 単位で 1000 AP まで拡張可能。規制ドメイン キーが必要。
<b>仮想無線アプライアンス</b>	
WS-V2110-9-IL	イスラエル向け V2110 V9 仮想アプライアンス。基本構成 8 AP に対し、1 AP または 16 AP 単位で 250 AP (Hyper-V)/525 AP (VMware) まで拡張可能。2 つの Radar 無償ライセンスが付属。
WS-V2110-9-JP	日本向け V2110 V9 仮想無線アプライアンス基本構成 8 AP に対し、1 AP または 16 AP 単位で 250 AP (Hyper-V)/525 AP (VMware) まで拡張可能。2 つの Radar 無償ライセンスが付属。
WS-V2110-9-NAM	NAM (FCC) 規制ドメイン向け V2110 V9 仮想無線アプライアンス。基本構成 8 AP に対し、1 AP または 16 AP 単位で 250 AP (Hyper-V)/525 AP (VMware) まで拡張可能。2 つの Radar 無償ライセンスが付属。
WS-V2110-9-ROW	その他の国向け V2110 V9 仮想無線アプライアンス（注文の前に対象となる国を確認してください）。基本構成 8 AP に対し、1 AP または 16 AP 単位で 250 AP (Hyper-V)/525 AP (VMware) まで拡張可能。2 つの Radar 無償ライセンスが付属。
30313	3700、3800、3900 シリーズのアクセス ポイントのハイブリッド配備用 WS-V2110-10-FCC V10 仮想アプライアンス。規制ドメイン：FCC（米国、プエルトリコ、コロンビア）
30314	その他の国向け 3700、3800、3900 シリーズのアクセス ポイントのハイブリッド配備用 WS-V2110-10-ROW V10 仮想アプライアンス。規制ドメイン：ROW（注文の前に対象となる国を確認してください）
30316	その他の国向け 3900 シリーズのアクセス ポイント配備用の WS-V2110-10-BASE V10 仮想アプライアンス。規制ドメインはアクセス ポイントによって適用されます。
<b>容量アップグレード</b>	
WS-APCAP-1	C35 および V2110 用の WLAN アプライアンス容量アップグレード。WLAN アプライアンスの容量が 1 アクセス ポイント単位で増加。
WS-APCAP-16	C35 および V2110 用の WLAN アプライアンス容量アップグレード。WLAN アプライアンスの容量が 16 アクセス ポイント単位で増加。
WS-APCAP-25	C5210 および C5215 用の WLAN アプライアンス容量アップグレード。WLAN アプライアンスの容量が 25 アクセス ポイント単位で増加。
WS-APCAP-100	C5210 および C5215 用の WLAN アプライアンス容量アップグレード。WLAN アプライアンスの容量が 100 アクセス ポイント単位で増加。
<b>Radar 容量アップグレード</b>	
WS-RADAR-1	すべてのサポート対象アプライアンスの Radar 容量。1 アクセス ポイントの Radar 容量を追加。
WS-RADAR-16	すべてのサポート対象アプライアンスの Radar 容量。16 アクセス ポイントの Radar 容量を追加。
WS-RADAR-25	すべてのサポート対象アプライアンスの Radar 容量。25 アクセス ポイントの Radar 容量を追加。
WS-RADAR-100	すべてのサポート対象アプライアンスの Radar 容量。100 アクセス ポイントの Radar 容量を追加。
<b>規制ドメイン キー</b>	
WS-REG9P-IL	イスラエル向け V9 規制ドメイン キー。対象国における適切な RF 設定を使用して、WLAN アプライアンスとアクセス ポイントを有効にします。
WS-REG9P-JP	日本向け V9 規制ドメイン キー。対象国における適切な RF 設定を使用して、WLAN アプライアンスとアクセス ポイントを有効にします。
WS-REG9P-NAM	FCC ドメイン向け V9 規制ドメイン キー。対象の国における適切な RF 設定を使用して、WLAN アプライアンスとアクセス ポイントを有効にします。
WS-REG9P-ROW	その他の国向け V9 規制ドメイン キー（注文の前に対象となる国を確認してください）。対象の国における適切な RF 設定を使用して、WLAN アプライアンスとアクセス ポイントを有効にします。
30311	3700、3800、3900 シリーズのアクセス ポイントのハイブリッド配備用 WS-REG10P-FCC V10 規制ライセンス。規制ドメイン：FCC（米国、プエルトリコ、コロンビア）
30312	その他の国向け 3700、3800、3900 シリーズのアクセス ポイントのハイブリッド配備用 WS-REG10P-ROW V10 規制ライセンス。規制ドメイン：ROW（注文の前に対象となる国を確認してください）
30315	その他の国向け 3900 シリーズのアクセス ポイント配備用の WS-REG10P-BASE V10 規制ライセンス。規制ドメインはアクセス ポイントによって適用されます。

## 注文情報（続き）

部品番号	説明
C5210 および C5215 用トランシーバ	
MGBIC-02	1 Gb、1000BASE-T、IEEE 802.3 Cat5、銅ツイストペア、100 m、RJ 45 SFP
MGBIC-LC01	1 Gb、1000BASE-SX、IEEE 802.3 MM、850 nm 短波長、220/550 m、LC SFP
MGBIC-LC03	1 Gb、1000BASE-LX、MM、1310 nm 長波長、2 km、LC SFP
10GB-LR-SFPP	10 Gb、10GBASE-LR、IEEE 802.3 SM、1310 nm 長波長、10 km、LC SFP+
10GB-SR-SFPP	10 Gb、10GBASE-SR、IEEE 802.3 MM、850 nm 短波長、33/82 m、LC SFP+
10GB-LW-SFPP	10 Gb、Laserwire ケーブル アセンブリ用 Laserwire®SFP+ アダプタ
10GB-C10-SFPP	10 Gb、SFP+ トランシーバ内蔵のプラグ着脱可能な銅ケーブル アセンブリ、10 メートル
10GB-C03-SFPP	10 Gb、SFP+ トランシーバ内蔵のプラグ着脱可能な銅ケーブル アセンブリ、3 メートル
10GB-C01-SFPP	10 Gb、SFP+ トランシーバ内蔵のプラグ着脱可能な銅ケーブル アセンブリ、1 メートル
10GB-USR-SFPP	10 Gb、超短距離マルチ・モード、850 nm、OM3 上で 100 m/OM4 上で 150 m、LC SFP+ (V9.01 以上が必要)
アクセサリ	
30522	ネットワーク アプライアンス用 WS-PSI-C5215-750W-01 冗長電源 (発注前にサポート対象のモデル番号を確認してください)

## 製品保証

Extreme Networks は、お客様第一の企業として、高品質の製品とソリューションを提供することに尽力しています。万が一、当社の製品が不具合により故障した場合のために、お客様を保護し、速やかに製品の修理やメディアの交換を行えるよう、製品保証制度をご用意しています。一部の Extreme Networks 無線アプライアンスには、耐用年限の保証が付きます。

保証条件の全文については、次のページをご覧ください。

[www.extremenetworks.com/support/policies/warranty](http://www.extremenetworks.com/support/policies/warranty)

## サービスおよびサポート

Extreme Networks は、お客様のネットワークの設計、配備、最適化を支援するプロフェッショナル サービスから、カスタマイズされた技術研修、個々のお客様のニーズに合わせたサービスおよびサポートまで、総合的なサービスを提供しています。

Extreme Networks のサービスとサポートの詳細については、当社のアカウント担当者 ([www.extremenetworks.com/support](http://www.extremenetworks.com/support)) までお問い合わせください。

### 電源コード

Extreme Networks グリーン イニシアチブとの関連で、電源コードは別売となっております。必要な場合は、注文時にご指定ください。この製品の電源コードが入手可能かどうかについて、詳細は [www.extremenetworks.com/product/powercords/](http://www.extremenetworks.com/product/powercords/) を参照してください。



エクストリーム ネットワークス株式会社 / Email [extremejapan@extremenetworks.com](mailto:extremejapan@extremenetworks.com)

©2018 Extreme Networks, Inc. All rights reserved. Extreme Networks および Extreme Networks のロゴは、米国およびその他の国における Extreme Networks, Inc. の商標または登録商標です。その他のすべての名称は、該当する所有者の資産です。Extreme Networks の商標の詳細については、<http://www.extremenetworks.com/company/legal/trademarks> をご覧ください。製品の仕様や提供状況は予告なく変更される場合があります。2420-1017-31